

NEW!!

もうETC(料金支払)だけじゃない

ETC 2.0

広がる運転支援サービス

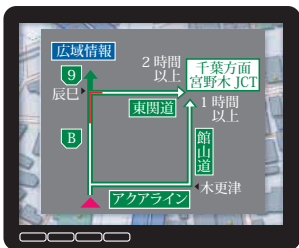
ETC 2.0では、今までの通行料金支払はもちろん、渋滞回避支援や安全運転支援など運転支援のサービスが受けられます。さらに今後、走行履歴や経路情報などのビッグデータを活用したさまざまな新しいサービスが増えていく予定です。

運転支援サービス

渋滞回避支援

広域な道路交通情報をリアルタイムに受信。前方の渋滞状況も静止画でひと目でわかる。

簡易図形



静止画



安全運転支援

落下物や渋滞末尾情報、前方の静止画など危険状況に関する情報を受信。

簡易図形



静止画



この先渋滞、追突注意

雪のため注意して走行してください



災害時の支援

災害発生と同時に災害発生状況とあわせて、支援情報を受信。

簡易図形



地震発生、通行止です後方を確認しハザードランプをつけゆっくり左側に停車してください

経路情報を活用したサービス

- 一時退出した場合でも、高速を降りずに利用した料金のままとする措置の導入(平成28年度より順次導入)
- 圏央道利用について約2割引(圏央道利用分)と圏央道を大口・多頻度割引の対象道路に追加
- 混雑状況などに応じた動的な料金の導入(大都市におけるシームレス料金の影響を検証した上で順次導入)
- 特殊車両通行許可の簡素化(平成27年秋開始)
- トラック運行管理サービスの試行(平成27年秋試行)

広がる民間サービス

- 民間駐車場決済(サービス実施中)
- ドライブスルー決済など

駐車場決済イメージ





道路

全国の高速道路上に設置済み (通信スポット)

道路に設置された通信スポットと車両が双方向通信を行うことにより、多様なサービスを実施します。

クルマ

ETC2.0 車載器 ETC2.0 対応カーナビ

ETC2.0

世界最高水準の効率的な移動へ

ETC2.0は、自動料金支払だけではなく、多様なサービスを可能とする新しいシステムです。全国の高速道路上に設置された約1,600カ所の通信スポットと走行車両が、双方向で情報通信を行うことにより、

- カーナビと連携し、広域的な渋滞情報や経路別の料金を踏まえた「最適なルート選択サービス」
- 道路構造物への影響が大きい大型車について、「適正なルートへの確実な誘導サービス」

などが受けられます。



すでに全国の高速道路をカバー これから開通の高速道路にも設置

通信スポットは全国の高速道路上に約1,600カ所設置完了済みです。今後、新しく開通する高速道路・有料道路にも設置します。*

* 高速道路の電波ビーコン (2.4GHz) による道路交通情報は、平成34年3月31日でサービスを終了し、通信スポット (5.8 GHz) による情報提供に移行します。